

Communication かおり高い文化の継承と創造

事業展開の基本方針

妙高市文化ホール開館30周年記念事業

妙高市文化ホールの役割である教育及び文化の向上並びに福祉の増進を図るため、「学習の機会や優れた芸術文化活動の鑑賞、発表の場の提供」「市民の自由で清新な創造エネルギーを活かした個性と心豊かな地域文化、市民文化の推進」を基本方針とします。

開館30周年を契機に芸術文化という感性で個性豊かで創造性のあるまちづくりを推進するため、「かおり高い文化の継承」と「地域の魅力＝人づくり」を統一テーマとし、地域の歴史と文化そして文化の持つコミュニケーション力を活かした事業展開とします。

人と自然のつながりを大切にする個性と心豊かな地域文化、市民文化の推進

地域の魅力を活かし、多くの市民が関わることで絆を深めるプログラム展開

地域文化の継承と創造を考慮した、魅力的なイベント構成

岡倉天心没後100年の機会をとらえ、市内外への発信力を高める

市民・各種団体・行政等と連携した事業展開

開幕プログラム 4～6月

- 絵本読み聞かせ会（葛の葉伝説）
- アニメ上映会（葛の葉伝説）
- 市民劇団朗読劇（信太の狐）
- 記念事業テーマシンポジウム

公益目的活動へのご支援を！



公益財団法人妙高文化振興事業団では、妙高市文化ホールを拠点とした継続的な公益目的活動をご支援していただくため、寄付金を募っております。詳しくは、当事業団事務局まで。（日本における寄付文化の醸成を目的として、公益財団法人は、全て税法上の「特定公益増進法人」に該当し、法人が実施している公益目的事業を支援するために支出された寄附金については、税制上の優遇制度が認められています。）



妙高アートコミッション！

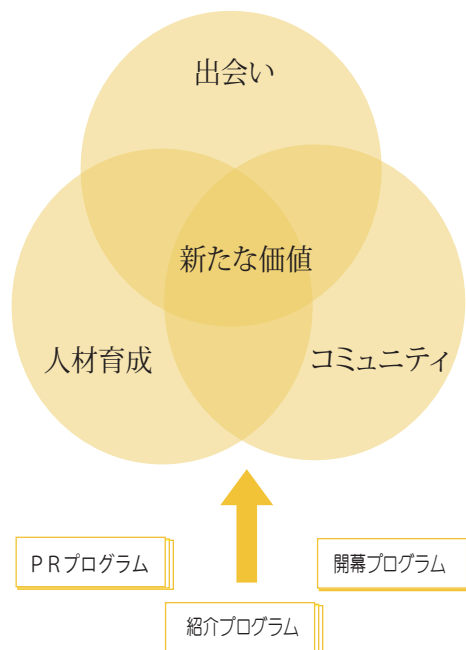
映画等の撮影場所誘致や撮影支援をする機関としてフィルム・コミッションがあります。では、妙高にもアート・コミッションがあっても良いのではないのでしょうか。先進的な市民の芸術文化活動や芸術家や演奏家などの制作活動に発表の場を提供し、応援することによって地域活性化、文化振興、そして観光の振興に繋げていく取り組みです。「市民ステージ」と銘打って、「妙・高・人」を応援します。

芸術文化という感性で個性豊かで創造性のあるまちづくり

地域の歴史と文化そして文化の持つコミュニケーション力を活かした文化芸術活動を推進

地域の魅力＝人づくり

子どもからお年寄りまで3世代で楽しめるオペラづくりでの出会いをとおしてコミュニティ能力を高め、妙高らしい新たな価値を追求し未来を切り開くことができる自主的・主体的な人づくり、そして、市民と行政が協働した地域の魅力づくりとまちづくりを推進します。

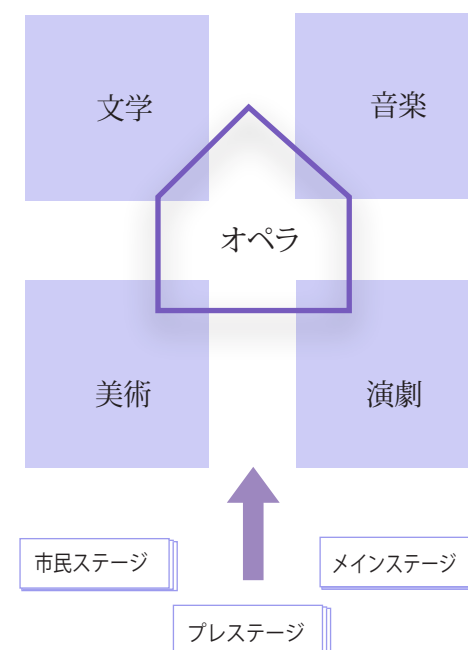


市民ステージ 6～11月

- 「白狐」創作太鼓
- 盆踊り（Born dance）
- 狐火イルミネーション
- 講演とコンサート

かおり高い文化の継承と創造

音楽・演劇・美術・文学の分野からなる総合舞台芸術であるオペラは、関連する様々な専門知識の習得が可能であり、上演に向けて多くの市民が関わることで地域の「絆」を深めることができ、再演を重ねることで「かおり高い文化の継承と創造」を行います。



メインステージ 11～12月

- 作品パネル展&衣裳小道具展（市民製作オペラ衣裳等）
- プレステージ（前夜祭）
- オペラ白狐（全3幕・日本語）12月1日 世界初演
翻訳・台本・作曲：平井 秀明（原作：岡倉天心）

市民が主役！



100年前、天心はオペラにより日本独自の文化と精神ともいべき人と自然との共生に誇りをもつこと、そして、それがどんなにすばらしいことかをオペラという舞台芸術によって世界に発信しようとした。オペラは、出演者、スタッフ、そして観客が一つになって創り出すものであり、そこから感動と感性を生み出します。妙高市文化ホールは、今後とも地域文化の拠点として舞台芸術により市民の感性を育み、その感性によってまちづくりに貢献します。